

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 国語表現

教科：国語 科目：国語表現 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 組～ 組

教科担当者：（ 組：森田 ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書：（ 国語表現 【大修館書店】 ）

教科 国語 の目標：
【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、

科目 国語表現 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	「言葉と表記」 【知識及び技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解する。 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組む。	・指導事項 表記の決まりを意識し、正しく書く。 漢字や慣用表現を正しく使う。 ・教材 教科書、プリント、スタディサブリ ・一人1台端末の活用			○	【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	「整った文を書く」 【知識及び技能】 ・書き言葉の特徴について理解を深め、係り受けを整えたり文末表現を統一したりすることについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・練習問題を解くことをおとして、文を整えて書く学習に対して積極的に取り組もうとしている。	・指導事項 係り受けについて理解する。 文末表現について理解する。 ・教材 教科書、プリント、スタディサブリ ・一人1台端末の活用			○	【知識・技能】 ・書き言葉の特徴について理解を深め、係り受けを整えたり文末表現を統一したりすることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	13
定期考査							○	○		1
2 学 期	「相手に応じた言葉遣い」 【知識及び技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解し、適切に使い分ける。 ・語彙の量を増し、話や文章の中で使うことをおとして、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・相手に応じた言葉を使い分けることについて、積極的に取り組む。	・指導事項 敬語について正しい理解をもつ。 敬語の使い分けについて理解する。 話し言葉と書き言葉の違いを理解する。 話し言葉と書き言葉の使い分けについて理解する。 和語・漢語・外来語のニュアンスの違いと、その使い分けについて理解する。 ・教材 教科書、プリント、スタディサブリ ・一人1台端末の活用			○	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解し、適切に使い分けている。 ・語彙の量を増し、話や文章の中で使うことをおとして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・相手に応じた言葉を使い分けることについて、積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	15
	定期考査						○	○		1
	「ネットを活用した情報収集」	・指導事項					【知識・技能】			

[illegible]